



# ウィックル通信

## Hypochlorous Acid Aqueous Solution Water NEWS Vol.28

ウィックルサイトの「コラム」には  
次亜塩素酸水溶液の情報が  
盛りだくさん！

ウィックルサイトに、「コラム」のページ  
(<https://vikill.jp/column/>)があるのはお気づきでしょうか？  
こちらでは、次亜塩素酸水溶液に関する情報を続々更新しています。今号では、これまでに掲載した内容を少しご紹介いたします！



・次亜塩素酸水溶液の持ち歩きにはどのくらい遮光が必要？  
おでかけに次亜塩素酸水溶液を持ち歩く時は容器の遮光が必要ですが、一体どのくらい遮光すればいいの？疑問に思ったので、ウィックル1000で実験し、その結果を掲載しています。結果、遮光しただと濃度が半減しましたが、ペットボトル用等の保冷カバーに入れると、1日程度のおでかけなら濃度維持が可能でした。

・薬機法により、「消毒、殺菌、予防、手指に使える」とは、広告できません  
次亜塩素酸水溶液には優れた殺菌効果がありますが、「雑品」扱いのため、個々の商品において「消毒」や「殺菌」という表現は薬機法(旧・薬事法)上できません。医薬品や医薬部外品でない、消毒や殺菌、効果がある具体的な菌やウイルス名、薬の効果があるかのような表現、手指に使える等の表現ができず、有用性をお伝えできないことがたくさんあります。そのことについて詳しく記載しています。

・布素材が色落ちする濃度の目安は？  
実験してみた結果  
身の回りのものに、次亜塩素酸水溶液をスプレーするだけで簡単に除菌できて大変便利なのですが、色落ちが不安という声も聞きます。そのため簡単な色落ち実験を行いました。その結果、日常の除菌(100ppm)

や空間噴霧(50ppm)程度であれば色落ちの心配は不要という結果になりました。  
200ppm以上では色落ちのリスクが高まるため、取扱う際には注意が必要です。

・カレーのニオイや着色のお悩みに  
次亜塩素酸水溶液を使ってみた結果  
番外編のような記事ですが、カレーに使われるクミンの臭いが、1000ppmの次亜塩素酸水溶液「ウィックル1000」に一晚漬けることでとれ、またプラスチックについたクルクミン(ターメリック)でも、1000ppmならほとんど落ちました。次亜塩素酸ナトリウムとも消臭・漂白効果の比較実験を試みた結果も紹介しています。

・次亜塩素酸水溶液の主な作り方3種  
メリットとデメリットは？  
除菌力は「ppm」をみればOK？  
「pH」との関係は？  
・魚釣りやアウトドアの消臭にも活躍  
など、ちよつと気になる情報が掲載されていますので、是非お読みください。  
これからもコラムページを随時更新してまいりますので、よろしくお願いたします。

ウィックル通信に関するお問い合わせ、感想または取り上げて欲しいテーマ等ございましたら、ご遠慮なく上記アドレスにご連絡ください。  
編集部一同心よりお待ちしております。